

さいたま市立内谷中学校

# 学校だより



第444号 平成30年1月9日

〒336-0034 さいたま市南区内谷6-10-1 ☎ 048-861-7571 <http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>



## 「長所を伸ばす」 —誰にでも、得手不得手はある—

校長 山浦 麻紀

スイセン  
花言葉・「自己愛」

平成30年が穏やかに明けました。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私はお正月の風物詩ともなっている関東大学駅伝（箱根駅伝）を毎年楽しみにしています。今年は、1月2・3日と現地まで行き、直接、応援をしてきました。駅伝には長い距離を走り、一本の襷を繋ぐという独特の魅力があり、一人でも脱落することができない厳しさも含め多くの人々から応援される競技です。また、箱根の山を中心として数々のドラマが生まれることもファンを挽きつける要因となっており、今年もまた、多くのドラマが生まれました。

さて、いよいよ今年度のまとめとなる3学期が始まりました。1月は（行く）、2月は（逃げる）、3月は（去る）などと言われるほど3学期はあっという間に過ぎていってしまいます。1年生は未来くるワーク（職場体験）、2年生は舘岩自然の教室（スキー）、3年生は進路決定など、どの学年もとても重要な学期でもあります。また、「3学期はゼロ学期」とも言われ、次の学年や、新しい生活への準備もしなくてはならない学期でもあります。特に3年生にとっては9年間の義務教育を修了する大事な学期です。残りの期間を有意義に過ごし、3月には本校の生徒としての誇りを持って卒業してもらえることを願っています。

本日の始業式で生徒の皆さんに「全力で自分の長所を伸ばして欲しい」について話をしました。「まず自己を見直し、自分の長所、短所をしっかりと確認することが大切である。そして、自分の長所と思うことを全力で伸ばす努力をして欲しい。」と伝えました。苦手や欠点を補うことも重要ではあるけれど、長所を伸ばそうとすることで前向きで意欲的な生活が送れることでしょう。長所は個性となり、さらに自信にも繋がることでしょう。

そのためにも年度当初に掲げた「人間一人ひとりを大切にしたい・・・人間誰にでも、必ず、良さがある。合わせて不得手なこともある。相互に不足を責めるのではなく、よさを認め合い、不足を補い合い」・・・を全力に生活して欲しいと思っています。

一生懸命だと知恵が出る、中途半端だと愚痴が出る、いい加減だと言いつけが出る

(武田 信玄)

まだまだ寒さはこれからが本番です。そして、インフルエンザ等の流行の季節にもなります。また、市内小中学生の自転車等による交通事故の発生も伝えられています。子どもたちが風邪などの予防対策や交通ルールを守り、健康な生活を送ることができますよう学校でも努めてまいります。引き続き、御家庭での御理解御協力も宜しくお願い致します。